

ケーブル製造機械等で 画期的技術を創造する

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応

業務内容
ケーブル分野以外にも
複数の主力事業を持つ

H C I の創業は平成14年と比較的新しい。燃線機、押出機、伸線機といったケーブル・ワイヤー・チューブ製造装置を軸に、ロボット・自動化・省力化機械、工作機械、検査機・試験機・測定機、マテリアルハンドリング装置等、多彩な分野において、生産設備の設計・製造・販売・メンテナンスを行っている。また、その幅広さを活かして、工場の生産ライン全体に対して、低コスト・省エネ化の提案事業も行っている。

自社開発
燃線機の常識を変えた
新システムを發明

磁気軸受式燃線機・燃合機「STF-80eC」

同社を代表する独自開発商品がチューブラー型燃線・燃合機である。燃線・燃合機とは、単線を捻り合わせて1本のケーブル・ワイヤー・チューブ等を生産する設備のこと。従来製品では、機械の振動等で細い単線が断線してしまうのが大きな問題だった。平成16年に同社が開発した「STF-40A」は、この問題を解決するために非接触方式の空気軸受を採用。回転数6500rpmという極めて高速な生産速度でも、断線せずに線を燃えることができる画期的なこの仕組みは、取引先の大手電線メーカーから感謝状をもらうほどの高評価を得た。さらに平成22年には、世界初の磁気軸受を開発。「STF-80eC」と銘打たれたこのタイプは、振動を抑えるだけでなく、低騒音化やメンテナンスフリーを実現し、品質と生産効率の向上により一

強み
若い社長のもとで
自由闊達な社風を醸成

層、寄与する発明となった。その他にも、毎年2機種以上の新商品を世の中に発表し続ける同社。わずか従業員15人の機械メーカーが、画期的なアイデアを次々と生み出せるのはなぜなのだろうか。その理由の一つとして、社員平均年齢33歳という若さがあげられる。奥山社長自身がブレイン・グマネージャーとして陣頭指揮を執りながら、現場での気づき・アイデアをどんどんと出し合えるオープンな職場づくりを心掛けているという。また従業員の福利厚生にも力を入れ、「社員が幸せに働くことがアイデアの源泉」という奥山社長の考え方を体現している。

今後の展望
新技術を創造しながら
世界へと羽ばたく

同社の社名は、「H」「O」「P」「E」「C」REATE、「I」NTERNATIONALに由来する。その言葉の通り、今後の目標として掲げるのは、世界でたった一つの技術を生み出し続けることだ。この不況の中で同社の売り上げも上昇中。「技術を創造し、『夢』をカタチに」——この経営理念に従ってH C I の飛躍は今後も続くに違いない。



若いスタッフも多く、職場は活気に満ちている

COMPANY PROFILE

株式会社 H C I

大阪 23

当社の歴史

平成14年の独立直後から、アイデア勝負のものづくりを続けてきました。携帯電話に使用される極細ケーブルや精密な医療機器等、ワイヤー・チューブへの技術的な要求は年々高まりを見せています。技術開発への先行投資や大学との共同研究を進めながら、技術創造メーカーとしてその期待に応え続けていきたいですね。

真似されることを恐れるのではなく、絶対に真似できないものをつくりたい。

代表取締役 奥山 剛旭さん



■主な事業内容

ケーブル・ワイヤー・チューブ製造装置等の製造・販売・メンテナンス等

■主な取引先(納入先)

ケーブル・ワイヤーメーカー、医療機器メーカー、大学研究機関等

住 所 / 〒595-0035

泉大津市式内町6-30

T E L / 0725-20-6266

F A X / 0725-20-6277

創 業 / 平成14年6月

設 立 / 平成14年6月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 15名

<http://www.hci-ltd.co.jp/>